

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	辻 泉		
NAME	Izumi TSUJI		

1. 研究課題

(和文) 青少年のポピュラー文化享受とライフスタイルに関する実証的研究

(英文) A sociological study on the youth culture and lifestyle in Japan

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文) 本研究は、「モノの豊かさ」よりも「心の豊かさ」が重視されるようになる後期近代社会において、そうした豊かさを真に実感できる社会の形成を目指して、そのための基礎データ構築を目的として行われたものである。具体的な事例としては、ポピュラー文化享受の実態を取り上げ、とりわけオタクやファンと呼ばれるような、先端的な享受形態を見せる青少年層に注目した。

当初の予定をやや変更して、調査については先端的な事例が見られる東京圏におけるパイロット・スタディ的なフィールドワークをいくつか行い、また新たな現象を記述するための理論的な検討の必要性が浮上してきたため、結果的には文献研究の割合が多くなった。

主たる知見としては、こうした先鋭的なポピュラー文化の享受形態が、今日では日本社会においてだけでなく、国際的にも広範な影響を及ぼしつつあるということ、また以前より一貫して調査研究を行い、さらに本研究でもその検討を行ったが、鉄道ファンに代表されるような、歴史も古く、また男性性が色濃く表れ、さらに特殊な関心に耽溺するようなタイプの文化享受形態が、こうしたオタク文化などの源流であるということが改めて確認された。

これらの文化のエッセンスは、非現実的なリアリティに耽溺する独自の時空間感覚に有ると言えるのだが、とりわけ文献研究からは、グローバル化が進展する今日の社会情勢の中で、こうした現象の理解をさらに進めていくために、近年、注目されつつある「移動論(Mobility studies)」の知見が重要であることが明らかになった。

(英文)

In this study, I intended to reveal some characteristics of popular culture in late modern society. For this purpose, I focused on otaku and fan cultures in Japan, and made some book review researches and case studies. As a result, I found that the new theoretical perspective is now required.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学术论文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>辻泉、「後期近代社会におけるポピュラー文化に関する文化社会学的研究視座について（仮）」</p> <p>『紀要 社会学・社会情報学』査読無、第24号に投稿予定。</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>